



JHFレポート

(社)日本ハンググライディング連盟 発行

1998年 9月号

選挙管理委員を選任

7月15日の理事会で、選挙管理委員が決まりました。

現在のJHF役員(理事・監事)は、来年3月31日で任期が切れるため、正会員による選挙で次の役員が選ばれます。この選挙が公正に行われるよう管理するのが、選挙管理委員。正会員や理事の推薦を受けて立候補した、次の4人の方々が、理事会で承

認されました。皆さん、ぜひご協力を。選挙管理委員の任期は、2000年3月31日まで、定員は若干名です。

選挙管理委員

長谷川光雄(東京都連盟副理事長)
泉 秀樹(JHF安全性委員会委員)
宮野 周三(群馬県連盟理事長)
金高 仁史(神奈川県連盟理事長)

この選挙で選ばれる役員の任期は、1999年4月1日から2001年3月31日まで。現在、総合改革委員会で検討の詰めに入っている会費制度のスタートなど、大仕事が待っています。「JHFの改革を自分の手で」という方、「このままのJHFじゃダメだ」と思う人、ぜひ役員に立候補を！ 選挙日程などは、後日発表されます。

水の事故に注意!!

8月の旧盆を過ぎると、北の地方や標高の高いエリアは、秋の風景に変わり始める。しかし「夏休みはこれから」という人も多いだろう。家族で滞在できるエリアに行く、遠くのエリアに足をのびたい、いつもの空でのんびり飛ぶ...と、それぞれのプランがあると思うが、無理のない計画を。疲れから集中力が低下し、事故を起こすこともある。また、慣れないエリアで飛ぶなら下調べをしっかりとすること。「せっかくここまで来たんだから」と、悪コンディションで飛ばないこと。事故は、誰でも起こす可能性がある。安全を第一に、夏を楽しく締めくくってほしい。

*

7月5日、沖縄県名護市の天仁屋エリアでパラグライダーの死亡事故が発生した。亡くなったのは、ノービスパイロット証を持ち、山飛び138本45時間の滞空経験がある男性Sさんで、関東からグループで飛びに行っていた。

沖縄県ハング・パラグライディング連盟からの報告によると、12時頃のテイクオフ地点の風は、時速25kmほど、テイクオフ方向60度に対し、100度の向きだった。地元のフライヤーがテイクオフ地点で「今日の風では左端に行くな」と注意をしている。

12時10分頃、テイクオフ地点の左500mぐらいのところ、青色の気体が着水したのを、一緒に飛びに行っていた一人が、上空から確認。12時40分頃に、地元のフライヤーも上空から青いパラグライダーらしいものを見ている。その後「海沈」の無線が入り、地元フライヤーとビジターが不時着地点方向に向かった。Sさんは、波打ち際から約15m、珊瑚の上に立っているらしいと伝えられたが、発見された時は、胸まで

の水深の珊瑚礁の上で、うつ伏せに浮いていた。カラビナは機体からはずされていたという。

救助者がSさんを浜に引き上げようとする、両足にラインが絡みついているのがわかった。浜に引き上げた時、心臓の鼓動はなく、人工呼吸を行ったが、救急車で運ばれた病院で死亡が確認された。

*

Sさんに何が起きたのだろう。左の方に飛んでいったら、思ったより高度をロスし、戻りきれずに着水。機体をはずし、浜に上がろうとしたが、ラインが足に絡んで溺れてしまった.....のだろうか。

水は怖い。泳ぎに自信がある人でも、パラグライダーやハンググライダーで着水した場合、機体や装備に引きずられ、深みにはまる、潮や川の流れにのまれる、体温を急激に奪われる...と、危険このうえない。エアバッグ式のハーネスでは、着水した時に尻が浮き頭を上げられないということも考えられる。たとえば水深20cmでも、顔を上げて呼吸することができなければ、人間は生きていけない。それを絶対に忘れてはならない。万が一、着水が避けられない状況になってしまった時、パニックに陥らないように、日頃から、自分の身を助ける方法を真剣に考えるべきだろう。いざとなったら、機体も装備も思いきりよく捨て、とにかく自分の生命を守ることこそ大切。生命を落としてしまったら、せっかくの道具も二度と使えなくなるのだから。

Sさんのご冥福をお祈りするとともに、二度とこのような事故が発生しないことを願う。

なお、沖縄県ハング・パラグライディング連盟は、その管理下のエリアでのビジターフライトに、エリアを熟知したガイド

を付けることを決めた。ガイドはショップのインストラクター、またはインストラクターが推薦するパイロット証所持者に限られる。ガイド料金は各ショップの設定による。ビジターは、出かける前に必ず詳細を沖縄県連、エリア、ショップ等に問い合わせしてほしい。

沖縄県連への連絡は、TEL.&FAX.098-948-3306(ウインドバード内)へ。

広報出版局 松田保子

空のかお

その12



寺田 公(てらだ こう)さん

若い頃から空が好きで、習志野の空挺隊に所属していたこともある。10年以上のキャリアがあるハングをメインに、ときにはパラも楽しんでいる。そんな寺田さんも子供たちが幼いうちは、万が一を考え空から離れたとのこと。その息子さんがボートの名手になった今、思う存分フライトを楽しむとともに、地域のエリア開発にも夢を馳せている。

委員会の動き

PG 競技委員会 委員長 岡 良樹

6月の委員総会後、委員会は開催していません。最近は大会公認のチェックを行っている。近々の予定としては8月15日～23日に長野県高山で開催されるPG日本選手権に公式審判員3名を派遣すること。昨年の日本選手権は気象条件に恵まれず不成立となっているので、今年は何とか成立するように神頼み。9月に委員会の開催を予定している。

HG 競技委員会 委員長 大沢 豊

今年度の主な活動予定及び目標は下記の2点である。

競技ルールを仔細に見直し、来年度に向けて改正する。競技人口の増加と競技の活性化を図り、HGフライヤー人口の拡大に結び付けたい。

99年3月21～27日の日程で広島・神ノ倉にて日本選手権を開催予定。神ノ倉エリアが一番良い時期での開催に今から大いに期待が持てる。

今年度から花岡司、板垣直樹、日下部博の3人を新しく委員を迎えた。新しい風を吹かせてもらえるよう期待している。

尚、HG競技委員会ホームページを開設したので、今後はタイムリーに競技予定、結果、進行状況などを報告していきたい。
<http://tomato.saino.ne.jp/~haku/JHF-HG.html>
で見てください。

教習検定委員会 委員長 島野 広幸

毎年7月からJHF教員研修検定会の準備が本格的に始まります。実技検定会の開始は10月に入ってからです。公平な検定が行えるように判断基準を見直したり、研修会の資料を作成したりで、思いのほか手間がかかります。特に今年から、即実戦に役立つように教習実技の研修時間(グループワークを取り入れる予定)を2日間設けるなどの新しいシステムにチャレンジするので、ある種の緊張感もあります。もう一つのテーマとして、タンデム技能証の運用があります。タンデムに関しては前例や資料が少ないので、まさに暗中模索の状態ですが、来年の3月まで(今年度中)にはある程度の結果をださなくてはならないので、ちょっと焦っています。

各委員の委員会活動に対する姿勢は大変に前向きで、新橋で開催する委員会では、あれもこれもと活発な意見交換が交わされます。最近では、委員以外の積極的な協力者も多く現れ心強いばかりです。

制度委員会 委員長 小林 秀彰

本年度は技能証申請料など収入の落ち込みにより、20万円という厳しい年予算のなかで、会議費や委員の交通費、日当を遣り繰りしなくてはならない状況です。全員が集まる会議は2回程度しかできないので、電子メールやFAXを使った会議を行いな

がら、前号で挙げた本委員会の目的を達成していきます。

7月16日に東京都港区の婦人センターで開いた委員会では、下記の議題について検討しました。出席者は、小林秀彰、大澤豊、板垣直樹、沼田敦子各委員と、担当理事の岩間雅彦。欠席委員は城涼一、西ヶ谷一志。
議題 - 2000年の普通会員会費制度が確立した場合の都道府県連盟規約の検討について トーニング技能証の必要性について (長期検討課題) USHGA セーフティアワードの研究と導入の検討について クロスカントリー技能証の見直しについて 補助動力練習生技能証の見直しについて

制度上の問題でご意見をお持ちの方は、JHF事務局内、制度委員会まで、郵送でお送りください。お待ちしております。

補助動力委員会 委員長 山崎 勇光

10月に開催予定の日本選手権に向けて、現地行政・観光機関との打ち合わせを行い、補助動力付パラグライディング日本選手権規定及び開催規則を作成しました。ただいま着々と準備進行中です。

また、補助動力付ハンググライディング問題集を検討中です。モーターハングの経験豊富な大川泰右さんをアドバイザーにむかえて、検討を重ねています。

当委員会は、MPG、MHGの特色を最高に出せるよう、頑張っています。

日本ハンググライディング安全性委員会(JHSC) 議事録

日時:1998年6月18日(木)13:00～17:00

場所:航空会館6階602会議室

出席委員:阿部郁重、斎藤紀、岡良樹、下山進、小宮國男、松田光平、幸路尚文

委任状:伊藤敏雅

オブザーバー:渡邊敏久、鈴木康之

機体登録申請者:有限会社アエロタクト、有限会社ジェネス

技術部会(型式登録審査)

パラグライダー新規登録

DAE KYO 式 EDEL SABER XS 型

(6/9 付合格:PI-621 前回保留分)

DAE KYO 式 EDEL ATLAS XS 型

(6/9 付合格:PI-622 前回保留分)

SKY VISION 式 BOOMERANG S 型

(合格:PI-623)

アドバンス式オメガ4-25 プロトタイプ型

(保留:強度試験報告書の内容が承認され次第合格とする)

アドバンス式オメガ4-28 プロトタイプ型

(保留:強度試験報告書の内容が承認され次第合格とする)

定例委員会

1. 委員選任

今期(1998～2000年)のJHSC委員は、

阿部委員長の原案を全員一致で可決、下記の通り選任された(6月理事会で承認)。

学識・有識者:阿部郁重(委員長)

斎藤 紀(副委員長)

野口常夫(技術部会長)

業界・技術関係者:岡 良樹(技術部会)

小宮國男(技術部会)

フライヤー代表:泉 秀樹(安全対策部会長)

スクール代表:下山 進(安全対策部会)

幸路尚文(安全対策部会)

2. 強度試験機材の更新について

強度試験車両の老朽化が激しく、試験の円滑な実施が困難となりつつあるので、新機材の導入が緊急の課題であるとの意見が出され、野口委員の出席する次回会合で具体策を検討することになった。

大会報告

'98 クロスカントリートロフィー-IN 朝霧

1998年5月23日・24日
静岡県富士宮市白糸エリア

総合	1位	田中 和男	1000点
	2位	坂本 英樹 神奈川	779点
	3位	石坂 恒雄 長野	778点
	3位	大城 芳郎 埼玉	778点
	3位	石鍋 修 東京	778点
	6位	松本 一郎 石川	777点
	6位	野崎 葉子 愛知	777点
女子	1位	野崎 葉子 愛知	777点
	2位	佐藤 明美 石川	446点
	3位	坂本真紀子 石川	446点

スポーツパラグライダーシリーズ第2戦。
第1戦の「クロスカントリートロフィー-IN 足尾」に続いて64名もの選手が集まり、盛大に開催された。本部前では、解説付きの実況放送も行われ、競技する者だけでなく、観る者にも楽しいイベントに。残念ながら競技は初日の1本のみ成立で終了。ディフェンディングチャンピオンの松本一郎選手をおさえて、田中和男選手が優勝した。

JHFの委員会

JHFには、いくつかの委員会があり、それぞれの専門分野の問題点や課題等について、検討したり研究したりしています。委員会内でまとめあげたことは、必要に応じて理事会に、ものによっては総会にもはかり、承認されゴーサインが出たら、委員会

が中心となって、実践していくのです。
委員は、立候補した人たちのなかから理事会が選ばれます。また、推薦して委員になってもらうことも。現委員は、今年度と来年度が任期。それぞれ忙しい身ですが、頑張っています。



Sky Love yamaguchi スカイラブ山口



ハングを心から愛する仲間が集まって。

スカイラブ山口はハングフライヤーのクラブです。高照寺スカイセイリング友の会のエリア会員でベテランフライヤー寺田・富田、新鋭田中のハングを純粋に愛する人を中心として、今年の5月に発足したばかりのできたてはやほやのクラブです。名称は来年の日本選手権開催地でもある神ノ倉の大御所、高見さんより頂いた由緒ある名前です。このクラブは3つのエリア（高照寺・高山・塔ヶ森）とその周辺の娯楽施設で活動をしています。（娯楽施設の方が多いかも？）

高照寺山は、山口県玖珂郡周東町にある盆地のエリアです。高照寺エリアから北東



アフターフライトも積極的に楽しんでいます。

約10kmのところには、ネスカフェのCMでも有名な名勝「錦帯橋」があります。花見シーズンには南西の風に乗り、花見客のビールを目指して毎週のように突撃（フライト）しています。

高山は大島郡橋町にあり、夏は海水浴客で賑わう所です。昨年、中山エミリさんが出演された映画「ときめきメモリアル」西田ひかるさんの出演されたドラマ「卒業」のロケ地として知られ、明石さんまさんに「瀬戸内のカリブ海」と言わせるほど、ロケーションは最高の場所です。島にもかかわらずサマー条件も極めて良好です。

橋町には練習斜面・LD・宿泊などができるウインドパークという施設があります。降りたと同時にビールも飲み、今年7月には庄南（しょうなん）ビーチという海水浴場もでき、おおいに遊べます。現在当クラブ員は、晩のおかずの確保の為に船でハマチのジギング・サザエの素潜り等忙しい週末を過ごしています。（フライトより腕前はいいかも...？）

塔ヶ森は山口県の東、玖珂郡玖珂町にあり山陽自動車道・玖珂パーキングエリアから見える所にあります。みなさんも玖珂パーキングエリアへお立ち寄り又は通過の

際は、安全に十分気を付けて、ぜひ上り線上方をご覧ください。今年の5月に開拓を始めたばかりで、まだまだ整備中の状態ですが、町と自治会（自治会長兼当クラブの会長、田中信雄氏）の協力を得て、着々と整備進行中のすばらしいI.Oが見えるはずですよ。

山口県東部には全国的にも有名な岩国米軍基地があり、これらのエリアでは戦闘機F18 ホーネットとの編隊飛行も可能なので、一時のランデブーを楽しむ事も...??（責任は当クラブでは負いかねます。）

スカイラブ山口は、塔ヶ森を基地として活動していこうと、現在ハングフライヤーには似合わない作業服・チェエンソーと缶ビールを持って活躍中です。ハングフライヤーで、山仕事の得意な体力のあるクラブ員を募集しています。今なら高待遇で優遇いたします。というのは冗談ですが、興味のある方はぜひお知らせください。

田中和夫・伊藤博之

検定会開催予定(1998年7月23日現在)

P:PGパイロット学科 NP:ノービスパイロット学科 HG:HGパイロット学科 XC:クロスカントリー学科

種類	検 定 日	時 間	開 催 場 所	主 催 ・ 連 絡 先
NP	9/5 (土)	16:00 ~ 18:30	茨城県新治郡 新治村小町の里	新治こまちPGS TEL.0298-62-5355
P・NP・HG・XC・PW	9/8 (火)	17:00 ~ 20:30	神奈川県横浜市 東戸塚地区センター会議室	ヨコハマスカイスポーツ TEL.0460-3-6958
XC	9/12 (土)	17:00 ~ 19:00	岡山県阿哲郡大佐町 SET大佐山講義室	SET大佐山SS TEL.0867-98-3400
NP・XC	9/12 (土)	17:00 ~ 18:30	静岡県熱海市 パラフィールド	ヘリグライド(株) TEL.045-680-1866
P・NP・XC	9/20 (日)	17:00 ~ 19:00	群馬県群馬郡榛名町 榛名町PGスクール	榛名町PGS TEL.0273-74-4252
P・NP	9/26 (土)	16:00 ~ 18:00	山梨県南都留郡 富士五湖PGスクール	(株)オーパルスリー TEL.0555-76-7771
P・NP・XC	9/27 (日)	9:00 ~ 12:00	熊本県阿蘇郡 阿蘇ネイチャーランド	阿蘇ネイチャーランド TEL.0967-32-4196
P	10/3 (土)	15:00 ~ 17:30	茨城県新治郡 新治村小町の里	新治こまちPGS TEL.0298-62-5355
P	10/10 (土)	17:00 ~ 18:30	静岡県熱海市 パラフィールド	ヘリグライド(株) TEL.045-680-1866
NP	10/24 (土)	17:00 ~ 19:00	岡山県阿哲郡大佐町 SET大佐山講義室	SET大佐山SS TEL.0867-98-3400
P	10/24 (土)	17:00 ~ 18:30	静岡県熱海市 パラフィールド	ヘリグライド(株) TEL.045-680-1866
P・NP・HG・XC・PW	10/25 (日)	18:00 ~ 20:00	神奈川県横浜市 神奈川県民センター会議室	神奈川県連盟 TEL.0460-3-5391
P・NP・XC	10/25 (日)	9:00 ~ 12:00	熊本県阿蘇郡 阿蘇ネイチャーランド	阿蘇ネイチャーランド TEL.0967-32-4196
P・NP・HG・XC・PW	11/10 (火)	17:00 ~ 20:30	神奈川県横浜市 東戸塚地区センター会議室	ヨコハマスカイスポーツ TEL.0460-3-6958
P	11/14 (土)	17:00 ~ 19:00	岡山県阿哲郡大佐町 SET大佐山講義室	SET大佐山SS TEL.0867-98-3400
NP	11/14 (土)	17:00 ~ 18:30	静岡県熱海市 パラフィールド	ヘリグライド(株) TEL.045-680-1866
XC	11/14 (土)	15:00 ~ 17:30	茨城県新治郡 新治村小町の里	新治こまちPGS TEL.0298-62-5355
NP・XC	11/28 (土)	17:00 ~ 18:30	静岡県熱海市 パラフィールド	ヘリグライド(株) TEL.045-680-1866
P・NP・XC	11/29 (日)	9:00 ~ 12:00	熊本県阿蘇郡 阿蘇ネイチャーランド	阿蘇ネイチャーランド TEL.0967-32-4196

総合改革委員会から

7月15日(水)に東京都港区立生涯学習センターで第8回(社)JHF総合改革委員会を開きました。

前回まで、普通会员の会費について、その金額、内訳などを具体的に考えてきました。今回は、会員数が25,000名の場合の収

入と支出のシミュレーションを。また、JHFの使命は何か、あらためて考え、改革の方向を確認しました。

昨秋の委員会発足時から、2000年春に会費制度をスタートさせたいとして、さまざまな問題を考え、可能性を探ってきました

が、1年早い実施をめざして、準備することになりました。1999年3月総会で承認されれば、さっそく4月から会費制度が始まることとなります。

会費制度(案)の詳細は、JHFレポート11月号でお知らせする予定です。

大会開催予定(1998年7月23日現在)

PS:ポイントシステム対象(ポイントシステム対象、公認については申請中を含む。)参加資格▶XC:クロスカントリー証 P:パイロット証 NP:ノービスパイロット証 B:B級練習生参加可 会員:都道府県連盟に属する者



区分	大会名	日程	開催地	参加資格	参加費	締切
公認	'98 リンクスオートムカップ	9/12~13	北海道旭川市カムイスキーリンクス	P	5,000円	8/20
	〒094-0013 北海道紋別市南が丘町7-26-24 TEL.01582-3-7756					
公認 PS	'98 山らいちょうバレーカップ第二戦	9/12~13	らいちょうバレースキー場	XC	20,000円	8/31
	〒125-0031 東京都葛飾区西水元6-22-15 TEL.03-3608-8626					
公認	'98 梅池109カップ	9/26・27	梅池高原スキー場	技能証別	25,000円	8/31
	〒399-9422 長野県北安曇郡小谷村梅池高原 梅池高原PGS TEL.0261-83-2521					
公認 PS	しらたかパラグライダーカップ	10/3・4	山形県白鷹スキー場	XC	12,000円	9/23
	〒999-3233 山形県上山市三本松126-19 しらたかshop内 しらたかPGカップ実行委員会 TEL.0238-87-2500					
公認 PS	'98 Cooパラグライダーオートムカップ	10/10・11	茨城県新治郡八郷町	XC	20,000円	8/31
	〒315-0157 茨城県新治郡八郷町大字上曾1698-1 TEL.0299-44-1408					
公認 SPS	小国パラグライダーフェスティバルメイヤーズカップ98	10/23~25	熊本県阿蘇郡小国町	P	10,000円	10/1
	〒869-2501 熊本県阿蘇郡小国町宮原1927 TEL.0967-46-3200					
公認 PS	尾神岳スカイランプリ	10/24・25	新潟県尾神岳	P	12,000円	10/15
	〒949-3443 新潟県中頸城郡吉川町下町1126 役場産業課内 TEL.0255-48-2311					
公認 PS	'98 阿波の国 四国三郎PG大会	10/31~11/3	徳島県四国HGサイト	XC	20,000円	10/16
	〒790-0915 愛媛県松山市松末1-10-29 TEL.089-975-4766					



公認B PS	ハンググライダー・奥羽ラリー選手権'98	9/11~15	秋田県十の瀬山・青森県岩木山	P他	16,000円	9/1
	〒017-0012 秋田県大館市釈迦内字長者森23-7 小松園悦(実行委員長) TEL.0186-48-2319					

理事からひとこと

副会長 川添 喜郎

6月25日、航空団体情報交換会に出席。12団体が参加、そのうち航空スポーツ団体は5団体。情報交換の意義はあったものの、やはりNACに参加している航空スポーツ団体の会議が必要な事を強く感じました。

JAAの人事が相つき空席となっていた事務局長に本橋和彦氏。吉松総務室長の後任に吉本明康氏。飯塚航空業務室長の後任に角田昌男氏。直井第2部副部長の後任に逆井幸江氏がそれぞれ着任されました。一昨年より大幅な人事が続く前任の方々と共通認識が深まっていた矢先。新任の各氏とは又改めてFAI正会員(NAC)とJHFの関係の共通認識をあらゆる場面で深めてゆきたいと思えます。

沖縄でのPGの水難事故の報が入りました。着水した場合ハーネスが浮袋となり人間が下向きになる事、ラインが手足に蜘蛛の糸のように絡む事が早くから指摘されています。着水前にハーネスと機体から離脱する準備のアクションが必要と思われまます。安全対策を改めてチェックしましょう。

常任理事 事務局長 朝日 和博

先日、渡邊理事長よりP.F.ドラッカー著「非営利組織の自己評価手法」という本をちょうだいした。まだ全部を読んでいないが、JHFの在り方について、改めて問い直すことが必要であると、深く考えさせられた。

JHFはよき意図をもって、よいことをもたらしたいのである。そして成果を上げて、この世に変化をもたらすために存在し

ているのである。

フライヤーは帰属感のもてるコミュニティ組織を望んでいる。そこがボランティア組織であるJHFではないのだろうか。

我々の考えなければならないことは次の5つであることを教えられた。

1. 我々の使命はなにか?
2. 我々の顧客はだれか?
3. 顧客は何を価値あるものとするか?
4. 我々の成果は何か?
5. 我々の計画は何か?

話は変わるが、今年度はたいへん厳しい財政状況にあります。理事さんには勿論のこと、各委員さんや皆様にもボランティア精神を大いに発揮していただき、この世によいことをもたらすことができるようご協力をお願いします。

常任理事 岩間 雅彦

7月15日に行われたJHF総会改革委員会で、会費制度の早期実施の方針が決定されました。1999年度の4月開始を目標に準備作業を進めることとなります。現在の案では会費制度の実施により、各フライヤーはJHFに会費(フライヤー登録料)を払い込むと自動的に居住地の都道府県連の会員となります。つまり、登録フライヤー全員に都道府県連の役員選挙に投票したり、役員に立候補する権利が生じるわけです。JHFに支払われたフライヤー登録料の一部は都道府県連の収入として還元されます。JHFレポートはフライヤー登録者全員に直接JHFから送付されます。この中には各都道府県連のページが設けられ、都道府県連が

ら各会員への連絡事項などを掲載するスペースが設けられます。このページを利用することで、各都道府県連は個々にフライヤー宛に通知を行う必要が大幅に減少するはずですよ。

以上の方針で、フライヤー登録料を現在のJAAの登録料と同レベルに抑えるべく、総合改革委員会ではシミュレーションを行って来ました。現時点での予測では、苦しいながらもなんとかかなりそうだという状況です。

ただし、以上は現時点での見通しでないし目標であって確定事項ではありません。また、1999年度に会費制度が実施されても、JAAへの登録が切れた人から順次JHFに登録してもらう形になるので、3年登録のフライヤーが移行し終えるのは実施開始から3年後ということになります。

一方、上記の会費制度が実行されると現在の都道府県連の定款や規則は大幅な変更が必要になります。制度委員会はこのためのモデル作りに着手しており、今年中に理事会に提案する予定です。

理事 関谷 暢人

「FAI国際技能記章」の制定に向けて準備している最中に、1本の電話がかかってきた。「日本記録について話を聞きたい。いつからスタートするのか?」、当事者として「早く軌道に乗せなければならない」と良い薬になる。しかし、全国でどのくらいの人がこの制度を待ち望んでいるのだろうか? 大体の想像はつくが...。ともあれ、JAAが権限委譲したことは歴史の一歩であ

る。これからもJHFが1本立ちするためにさまざまな事業を手がけることになるが、実行部隊はボランティアであるため時間がかかる。端から見るともどかしさを感じるかもしれない。そのためにもフライヤー及び正会員一人一人の理解と協力そして各種制定の活用が必要です。

理事 小林 朋子

CIVLからPGコンペ機のライン切れ問題の解決案が提案されました。細かくチェック項目を設け、強度を確認するというものです。日本の意見は、関係する委員会と話し合いながら慎重にまとめていきたいと思えます。

日頃より海外局の業務などで大変お世話

になっていた日本航空協会の担当者が変わることになりました。前任の直井副部長は数ヶ国語を操る、とても頼りになる方でした。後任の方は女性でやはりすごく優秀です。これからも良い信頼関係を築いていきたいと思えます。

理事 松田 保子

6月総会及び文書で正会員に呼びかけ、各都道府県連盟でひとりずつ広報係を決めてもらっています。広報係になった方々から、通知と一緒に、JHFレポートについての貴重なご意見をいただきました。ありがたい読みながら感じるのは「JHFレポートは、とっても期待されている！」ということ。情報の大切さ、JHFレポートの使命に

ついて、自分の考えを再確認しました。一緒にレポート編集をしてくださる宮沢明さんとよく話し合っ、皆さんの期待に応えられるレポートをめざします。といっても、編集者だけがどんなに頑張ってもいいものはできません。JHFレポートを育てるのは、フライヤーひとりひとりだと思います。皆さん、ご協力をよろしく！

あなたの意見を聞かせてください。
こんなことを理事会で話し合ってもらいたい。私が望むハング・パラグライディングはこうだ！...と、あなたの意見を、JHF事務局に郵便またはFAXでお送りください。

理 事 会 ダ イ ジ エ ス ト

7月理事会

7月15日(水)13時30分～17時30分 東京都港区立生涯学習センター学習室 出席：渡邊敏久、川添喜郎、朝日和博、鈴木康之、岩間雅彦、小林朋子、関谷暢人、星野納、松田保子各理事 欠席：坂本三津也、宮川雅博各監事

HG人口について報告

渡邊会長より、ハンググライディング人口の、年齢や技能、地区別グラフが資料として提出された。今年1月～6月では、B級フライヤーが目立って増加しており、地区別で見ると、関西の実績が高い。これは、スクールの指導方法にも関係あるようだ。

収入減の報告

朝日理事(事務局長)より、今年度4月～6月の申請料収入について報告あり。前年度の同時期に比べ、約1割の減少。

タンデム技能証検定について報告

教習検定委員会担当の関谷理事より、タンデム技能証制度のスタートにあたり、まず検定員が必要なので、教習検定委員会候補者を推薦する。今年度教員検定会で、タンデム検定を同時に行うことも検討中。

全国体験講習会について報告

専門部普及事業担当の星野理事より、今年度の日本財団助成を得ての全国体験講習会は、19県連26回に確定した(すでに終了したところも含む)。

CIVLからの提案について報告

CIVL委員である小林理事より、プロトタイプパラグライダーのライン切れについて、具体的なチェックリスト案が届いた。来年3月のCIVL会議でこれを検討することになっているので、PG競技委員会とJHSC、小林理事がJHFの意見案をまとめ、理事会にはかることに。

選挙管理委員選出について審議

6月理事会で協議されたように、1999年3月の役員選挙を控え、選挙管理委員を選任。理事・正会員の推薦を受け立候補した

4名が適任かどうか審議し、全員を承認。選任されたのは、長谷川光雄さん、泉秀樹さん、宮野周三さん、金高仁史さん。

また、委員の任期を2000年3月31日、委員の定員を若干名とすることを、全員一致で承認。(1ページの記事を参照。)

FAI国際技能記章制度について審議

FAI国際技能記章検定員認定会の8月末開催を目標に準備してきたが、1ヶ月ほど遅れると、関谷理事から報告あり。1991年4月4日付け暫定JHF・FAI国際技能記章検定員の処遇について審議。7年前に検定員の認定会に参加した70名弱の人たちを、制度の実施と同時に検定員として認定することに、全員一致で決定。ただし、申請期限までに再度申請する人のみ。県連盟の推薦は不要。

補助動力付PG日本選手権について審議

補助動力委員会より、JHF補助動力付パラグライディング日本選手権規定及び開催規則案が出され、これを審議。案の「参加資格」の項で、「都道府県連盟に所属していない者について、第5回大会までの特例としてJHFの推薦により参加出場することができる」とあるが、第3回大会(来年開催予定)までの特例にすることに決定(5名賛成)。動力の付いていないハンググライダーやパラグライダーの日本選手権では、各県連盟の推薦を受けたパイロットが出場しているが、MPGパイロットで県連盟に所属している人が少ないため、特例付きとなった。

特例としてJHFが推薦する場合の基準を明らかにするよう、関谷理事からの要望が出された。

レジャー航空無線について協議

郵政省から交付されることになった補助金にJHFの自己資金を加えて行う予定の事業について。大会やスクーリングに、スカイレジャー専用波を使えるよう、比較的低額(5万円以下)の専用波無線機開発の計画

を進めてきた。提示条件の内容から、あるメーカーを指名したが、最近になって大きく変わった条件を出してきた(見積もりが高くなった)ため、このメーカーの指名をはずし、再度他の業者と交渉することになった。(JHFレポート6月・7月号1ページを参照。)

委員/役員の日当について協議

JHFの各委員会や理事会等に出席した委員/役員に、現在は5,000円の日当を出しているが、大幅な収入減のため、金額を見直してはどうか、朝日理事が提案。具体的な案をもとに、次回理事会で審議することに(とりあえず今年度分に限り)。

神奈川県連からの要望について

6月14日に神奈川県ハング・パラグライディング連盟からJHFに出された「タンデム技能証規定案についての要望」と「JHF総合改革委員への要望」を、それぞれ教習検定委員会、総合改革委員会に伝えることを確認した。

事故報告について

JHF(JHSC)に報告されていない事故がかなりある。なかには、公認大会中に発生し、報告のないケースも。各教員や大会主催者らに、事故が起きた場合、速かに報告をしてもらうようあらためて働きかける必要がある。

*

JHFレポートは、6月・7月号まで、理事会議事録に一部補足したものを掲載してきました。理事会がどんなことを審議しているか、フライヤーの皆さんに知ってもらうためですが、わかりにくいところもありました。そこで、8月号からスタイルを一新。「理事会ダイジェスト」として、理事会で話し合ったこと、決めたこと等のポイントをお知らせしています。理事会の議事録は各正会員(都道府県連盟)に送られるので、必要な方はそちらをご覧ください。

JHF 広報出版局 松田保子

事務局からお願い

スムーズに皆さんの技能証を発行するためにご協力をお願いします。

1. 申請書類について

十分に点検をして不足のなきようお願いします。

糊付けするものは、はみ出さないようきちんと貼り付けてください。

写真は「無帽・無背景・証明写真用・撮影から半年以内」でお願いします。

従来からの「報告書」は必要です。お忘れなく。報告書用紙は、コピー不可です。

報告書は、各申請級ごとに作成してください。

報告書と申請書は、一緒にお送りください。

申請料は、イ.銀行振込、ロ.郵便振替、ハ.現金書留をお願いします。

普通郵便での現金送金は違法です。当方も責任が持てませんのでやめてください。

旧申請書による申請は受けられません。

最近の書類不備で目立つものとして、「飛行経歴書」「練習生飛行経歴書」に、サ

インの無いものがあります。必ずご記入ください。

学科合格申請書類を事務局宛に送る際、書類と現金は、判りやすいように封筒などに入れ、書類の間に挟まないようにしてください。

使用した問題と未使用のものも分けてください。書き損じた申請ハガキは赤で大きく斜線を入れてください。

2. FAXでの申し込み等

特にご案内しているもの以外は、FAXでの申し込みは、受け付けません。

3. 学科検定開催申請について

申請は、遅くとも開催希望日の1ヶ月前までをお願いします。ゆとりをもって早めにご申請ください。

4. 諸連絡について

各種のご連絡は、「JHF 教員技能証をお持ちの方」に、事務局から郵送します。住所等変更のご連絡は、必ず事務局までお願いします。必要と思われることは、助教員の方へ伝達をお願いします。

カレンダー

秋田県ハング・パラグライディング連盟
 9月5・6日 PG秋田県大会(問い合わせ TEL 0185-25-2077 大縄学)
 9月12～15日 HG奥羽ラリー選手権'98/十の瀬山HGかもしかカップ(4ページを参照)
 岐阜県フライヤー連盟
 9月19・20日 第1回岐阜県選手権(HG・PG同時開催)
 10月3・4日 全国スポーツレクリエーション祭に参加 揖斐郡池田町でHG・PGの大会開催
 10月 ? 日 安全セミナー

訂正とお詫び

JHF レポート6月・7月号のP1「空のお」に登場していただいた佐々木さんのお名前が間違っていました。和美さんではなく、和子さんです。訂正して、お詫び申し上げます。

JHF スクール情報登録(JHF ホームページに掲載、JHF レポート6月・7月号のP8

にも掲載)で、下記の間違がありました。

- ・2403 センライフパラグライダーズスクール(誤) サンライフ.....(正)
- ・3103 登谷石パラグライダーズスクール(誤) 登谷山.....(正)
- ・4802 SETスカイスポーツスクール茨木(誤)茨城(正)

以上、関係者の皆様にご迷惑をおかけしました。お詫び申し上げます。

スクール情報登録の申し込みは、各県連事務局で受け付けています。登録料2,000円を添えて、申し込んでください。

広報出版局

JHF レポートに県連ニュースを

これまでJHF レポートは、各都道府県連盟の活動内容や予定をできるだけ掲載しようとしてきました。しかし、なかなか情報が集まらず、せっかく送ってもらったものも締切に間に合わなかったり、内容が古す

ぎたり。これは、県連とJHF レポートを結ぶパイプがはっきりしないのが、いけない。そこで、県連ごとに広報係を決めてもらうことにしました。これからは、広報係の皆さんから、新鮮な情報をもらえるは

ず。どうぞご期待ください。

さっそく10月号から、「県連ニュース」のページを設けたいと考えています。47都道府県連盟全部のニュースがズラッと並ぶ.....といいのですが。お楽しみに。

JHF 技能証発行数(1998年7月31日現在)					
ハンググライダーング	P証	4,673	パラグライダーング	P証	16,859
	C証	6,594		NP証	7,039
	B証	11,076		補助動力NP証	58
	A証	10,465		B証	37,267
	補助動力証	18		補助動力B証	118
	XC証	1,001		A証	39,384
				補助動力A証	144
		補助動力証	852		
		XC証	3,080		

JHF ホームページもご覧ください。 <http://jhf.skysports.or.jp/>

JHF レポート9月号(No.140)

発行日 1998年8月20日
 発行 (社)日本ハンググライダーング連盟
 〒105-0004 東京都港区新橋2-5-6 大村ビル4F
 TEL.03-3592-2651 FAX.03-3597-0245

編集 JHF 企画部広報出版局
 印刷 日本印刷(株)

この印刷物は再生紙を使用しています。